

第1回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー

(精神・神経病態解明センター開催)

アディクションを引き起こす神経伝達物質システム

"Neurotransmitter Systems Underlying Addiction"



公益財団法人東京都医学総合研究所
依存性物質プロジェクト

池田 和隆 先生

日時: 2026年 4月 22 日 (水) 17:00 ~ 18:00

場所: 大学2号館11階1101とZoomのハイブリット開催
※学外者はZoomのみ

言語: 日本語 (Japanese)



参加登録 URL

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_csUfPAmgQ3enTWi35xWe8Q

アディクションは物質依存と行動嗜癖を含む概念であり、市販薬乱用やオンラインカジノなど多様な社会問題と関連する。一方で、その分子・神経機構の理解は大きく進展している。報酬系においてはドーパミン系やオピオイド系、さらにグルタミン酸系など複数の神経伝達物質システムが関与することが明らかとなっている。モデル生物研究では、線虫においてもドーパミンやオピオイド様ペプチドが嗜好性を規定することが示され、嗜癖行動の進化的保存性が示唆される。また、GIRKチャネルは依存性物質作用の重要なエフェクターであり、ドーパミントランスポーター欠損マウスやGluN2Dサブユニット欠損マウスを用いた解析から、グルタミン酸系の役割も明らかとなってきた。本講演では、これらの知見を踏まえ、アディクションに関与する神経伝達物質システムの統合的理解を概説する。

お問い合わせ・連絡先

・講演内容について / 佐野 裕美 (精神・神経病態解明センター 内線: 9379)
・その他 / 鶴田 未奈子・池田 彩乃 (研究支援部 研究支援課 内線: 2590)

2026年3月10日

March 10, 2026

学生・教職員各位

To all students and faculty staffs

藤田医科大学 精神・神経病態解明センター
センター長 貝淵弘三

令和 8 年度
第 1 回 FUJITA ブレインサイエンスセミナー 開催通知
Information on FUJITA Brain Science Seminar 2026

◆ 演者：池田 和隆 先生

(公益財団法人東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

「アディクションを引き起こす神経伝達物質システム」

Kazutaka Ikeda (Addictive Substance Project Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science)
- Neurotransmitter Systems Underlying Addiction -

日時: 2026年4月22日(水) 17:00 - 18:00

Time and Date: Wednesday, April 22, 2026, 17:00-18:00

場所: 大学2号館11階1101とオンライン (Zoom) のハイブリッド開催

※学外者はオンライン (Zoom) のみ

Room: University personnel can attend the seminar at 1101, 11F, Building No.2 and online Zoom. Others can attend it online (Zoom).

受講対象者: 学内外にかかわらず、どなたでもご参加いただけますが、生命科学について大学学部生程度以上の知識をお持ちであることが望ましいです。

参加方法: オンラインでご参加の方は、下記サイトより必ず事前登録してください。

このミーティングに事前登録する:

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_csUfPAmgQ3enTWi35xWe8Q

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

使用言語: 日本語

Language: Japanese

講演要旨: アディクションは物質依存と行動嗜癖を含む概念であり、市販薬乱用やオンラインカジノなど多様な社会問題と関連する。一方で、その分子・神経機構の理解は大きく進展している。報酬系においてはドーパミン系やオピオイド系、さらにグルタミン酸系など複数の神経伝達物質システムが関与することが明らかとなっている。モデル生物研究では、線虫においてもドーパミンやオピオイド様ペプチドが嗜好性を規定することが示され、嗜癖行動の進化的保存性が示唆される。また、GIRK チャンネルは依存性物質作用の重要なエフェクターであり、ドーパミントランスポーター欠損マウスやGluN2D サブユニット欠損マウスを用いた解析から、グルタミン酸系の役割も明らかとなってきた。本講演では、これらの知見を踏まえ、アディクションに関与する神経伝達物質システムの統合的理解を概説する。

担当者連絡先:

- ・講演内容に関して: 佐野 裕美 (精神・神経病態解明センター 内線: 9379 メール: hiromi.sano@fujita-hu.ac.jp)
- ・その他: 鶴田 未奈子・池田 彩乃 (研究支援部 研究支援課 内線: 2590 メール: icbs@fujita-hu.ac.jp)